

令和6年度 とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業  
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	6
学校名	富山県立滑川高等学校

学校の現状と課題	本校は、海に近く自然に恵まれ、地域からも親しまれる環境にある。普通科、商業科・薬業科、海洋科の4学科が、それぞれの特徴を活かした活動を展開している。また、総合的な探究の時間に生徒が各学科の枠を超えて他学科の講座を選択できる「滑高ゼミ」等を実施している。さらに新しい技術を学び、実践的な活動により経験を積み、地域産業の担い手として一層活躍できるよう取組が必要である。また、普通科の探究は地域との連携を考える必要がある。	
テーマ(特色)	具体的な経験を積み、主体的に深く学び、行動できる人材地域を担う人材の育成	
設定した「テーマ」の達成状況	① 薬業科:薬機法における、専門性の高い内容を学ぶことにより、地域の薬業に関わる意識を高めることができた。 ② 商業科:販売実習 模擬株式会社を設立し、姉妹都市の特産品の販売を行うことにより、販売実習経験を積むことができた。また、「店舗運営の実際」の講演から、販売実習における接客のあり方を学んだ。 ③ 海洋科:藻場の造成およびアオリイカ産卵床の設置を、滑川漁協青年部と連携して行った。 ④ 普通科:2年生の「滑高ゼミ」では専門性の高い知識や考え方を学び、主体的・実践的な活動により学問の奥深さとつながりを探究的に学んだ。1年生は滑川市や県内企業と連携した地域探究を行った。	
実施内容(具体的に記入する)	① 薬業科:薬の製造と分析について3年間学び、薬の富山を支える人材を育成している。しかし、薬に関する法律(薬機法)について、授業でほとんど扱えないので、専門家を招いて薬機法を学ぶ機会を必要としていたため、北海道大学の非常勤講師で、薬剤師の先生を招き、各学年1時間で、それぞれの学年に応じた内容での特別授業を実施し、薬機法について理解することができた。 ② 商業科:販売実習のための模擬株式会社を設立し、姉妹都市の特産品を販売した。「店舗実習の実際」について、講演を行った。 ③ 海洋科:滑川の荒廃している里山の間伐及び間伐材を用いて漁礁の作成を行った。 ④ 普通科:2年生全員が一年間にわたり「滑高ゼミ」の中で、各学科の枠を超えた講座を受講し、専門性・学問性の高い研究について理解を深めた。1年生は年間を通して滑川市と連携し、地域探訪や企業訪問から地域課題を考え、外部を招き発表した。 ⑤ 全体:外部講師とともに探究的な授業を振り返り、来年度により生徒主体的、教科横断的探究に繋げられるように教員研修を行う予定である。	
取組による成果(プロジェクト学習推進の観点から)	各学科でそれぞれ新技術や考え方を学び、より実践的な活動による経験を積み、地域産業の担い手として活躍できる資質・能力を身につけることができた。 ① 薬業科:地域の製薬会社等に就職する際に、薬機法に関わる実際に起こった事件を知ることで、必要な法律の知識や、薬業に関わるために必要なことを学ぶことができた。 ② 商業科:9月末に学園祭にて販売実習を行い、商業科で企画し、地域と連携した商品だけでなく、姉妹都市の特産品の販売を行った。姉妹都市の魅力を発信するとともに、地域の活性化に寄与することができた。 ③ 海洋科:地域漁業者は生徒の力を頼り、生徒は漁業者の取り組みを尊敬していた。海を利用して生活、学習する者が互いに知恵を出し合いながら資源管理について考えることができた。 ④ 普通科:地域探究を経て、2年次に興味関心に基づく専門性・学問性の高い授業を受講することで、さらに地域の魅力や可能性を知ることができた。また生徒一人一人が自身の進路探究へと繋げることができた。	
対象者(学年・人数など)	薬業科1年34名・2年35名・3年38名 商業科3年40名 海洋科1年35名・3年23名 普通科1年80名・2年77名	
実施実績	4月	普通科(2年) 滑高ゼミ(4月～3月)
	5月	海洋科 間伐作成
	6月	商業科 講演会
	7月	普通科、海洋科(1年)滑川市長による滑川市講座・座談会
	8月	
	9月	商業科 販売実習 普通科、海洋科(1年)中間発表 海洋科(3年)観察
	10月	
	11月	
	12月	薬業科 講師を招いて特別授業を実施 普通科(1年) 企業訪問
	1月	
	2月	
	3月	普通科(1年)「地域課題」の発表会 海洋科 次年度の検討会 探究的授業に関する教員研修会